



淫女淫窟

時雨

秘書艦

成人指定
Adult Only

私は意識が上の、
ずっと上の知らないところへ
上昇するのを感じた

お

ち

る





提督だって十分すぎるくらいやってるよ…?

う…そうか…?

うん…ほんとに

でもここは夫としてだな…
嫁に甘えるわけには…

あーまた…

執務中はボクも部下として
扱うんじゃないかっけ?

う…うむ
すすまん



かっこつけちゃってさ…

でも君のそういうとこ
ボクは好きだよ…



ん?



うわ…っ

むい…

ボク…ダメな子だな…

時雨のこもとろとろだ…



……うん…

執務中にこんなこと…



ナカもっ…



でもこんな時でも
ボクは提督に…



ていつくのゆびっ…



して欲しい…

いっ…くかも…

あっあ

もっと…
もっと触って…



ボク... もっ...





はあ…

結局ぱんつはく
ひまなかつたし…



でも…

最後までしたかったな…



なんてダメダメ！

早く倉庫のチェック
終わらせて戻ろう！



なだれっ？

げっヤベっ



にしてもさっきのは
よくないよ…

ぬるぬるもそのまま
気持ち悪いし…

ほんとボクってさいてーだ…
執務室であんなこと…



おいもつと注意しろよ

んぐっ...!?

どっ泥棒??

この...!

へへっ
すまねえ助かったぜ

しまっ...!
もうひとりっ...

海軍の備蓄ちよろまかし
てるのバレたらどうなるか...

変わんねえどころかこいつっ...

んんん?こいつ...
艦娘つてやつじゃねえか?

やだっ...

うそっ...!

えっなにっ...?
うそっ...このひとたち...

エロい身体してやがる

なんだよ人間とかわんねえな

おっ...

め...
やっ...



しかもとつろとろに
濡れまくってんぞ…!

まさかのノーパンだぜ



今はっ…!

あっ…!



さーてこっちは…

おっ



ナカすっげえとろとろ

提督とした時イケなかった
から今触られたらヤバいっ…!

だめっ…やめてっ…
だめえっ…!



性欲処理もいつでもおまかせってか?

さい…あくっ…!

さっき触った時の…っ
ぬるぬる残っちゃってる…!



じゃあ俺たちも…!

へへっもちろん
いいよなあ?

立ってられねえくらい
感じまくってよ



だめだめだめ...っ！
こんなやつ...やだ...っ！

いって...絞めすぎっ...

こんなやつらに...！



ガキみてえな顔してるくせに
とんだ痴女だぜ

毛もほとんど生えてねーのに
こんな...たまんねえな...！



おら指もう一本っ...！



こん...なっ...

こん...
だっ...め...！

なか
膣内はガキどころか...！



ほい...っ
だめっ...

キスまで...っ！

ほいクチビルもらいっ

提督以外の男に...



おっナカびくびく激しくなってきた...イクか?
いつちまうか?

提督じゃないのにつ...



おらいけっ...!

ないのに...
なんでっ...?

いやなのにつ...
なんっ...



おー派手にイッてるイッてる

きもちっ…

指でこのイキ方…っ!
ちんぽじゃどーなるか…!

んんん…

あーんんん…

あーんんん…

あーんんん…

あーんんん…

あーんんん…

あーんんん…

あーんんん…



きもちよく…なんて…

ほらひとりで気持ちよく
なってるでさ

そうそう俺らのちんぽも
気持ちよくしてくれよ…!



おらっ出せぞ……

ッ……

こつちもほら！
手え動かし……ん？



「ままらびびってんのか？」

いやそっじやねえけど……！



こいつ指輪してるぜ……
つてことはもしかしてお偉いさんの……

なんで抵抗もせずこんな……

こんなこと……ボクは……っ



その方が都合いいんだよ……
つとまた出る……っ！



おら後ろ向けって
お待ちかねの生ちゃんぽ...

たっぷりくれて
やるからよ...!!

あっ...まっ...
だめっ...

びくっ!

まって...

やめっ...
やめて...っ!



おとなしくしてりや
何事もなかったみてえに...

へっ...
そうだぜ!



ボクが...
だまっていれば...

なかったことに...



おいおい暴れて
騒ぎになつてもいいのか?

その指輪くれた男に知られても...!

ツ...!

ていどく...に...?



わんわん...おおっ...

なにも...

なかつ...

ちんぼ入れたとたんに
膣内うねって...

おく...までっ
届いてる...っ!

おなかのおく...
かきまわされて...っ!

そんなにちんぼ欲し
かったかよ...っ





俺も入れてえろ！
はっはやくしろよっ！

ちんぽトロけそうなくれ！
どっろどろだし…っ！

奥突くたびにぎゅうぎゅうに
絞めつけてくる…っ

ボクのせいじゃ…



っーかこいつさつきから
イキまくってるし…！

こんなにっ…！
きもち…っいい

アナルもちんぽ欲しそうに
ヒクつかせてよ…！



あゝもう待てねえ！
しやぶってほら…っ！

へへっ嬉しそうにしやぶる
ようになっちまってまあ



マジかよ！じゃあ俺の
ちんぽすぐ入れて…

っど…！

きもちいいのは…っ！



もう自分から腰あわせてっ……!

きませすかへっ……

中うねってちんぽ離してくんねーっ



おっ脚絡めて……

そんなにナカに出して欲しいかよ



気持ちいいんだろ? もーがまんすんなくて

言えよほらっちんぽ気持ちいいって

だからこんなっ



きまさいいんだっ……



子宮から違うオトコの匂いさせて
ダンナの匂い戻りたいとか…っ

お望みどおり精液注いでやるっ…
孕んじゃまうくれーよ…っ！



っし…出すぞっ…

こっちも出るっ…！
腹の中で受け止めっ…！



っし…出すぞっ…

ごめん…ね…
ボク…ボクもう…っ！



しらねーオトコの精液
ナカ出されてダンナに
なんて言い訳すんだ？

ていへん…

ボク…は…

この事は黙っててやるから…
また…わかるよなあ？





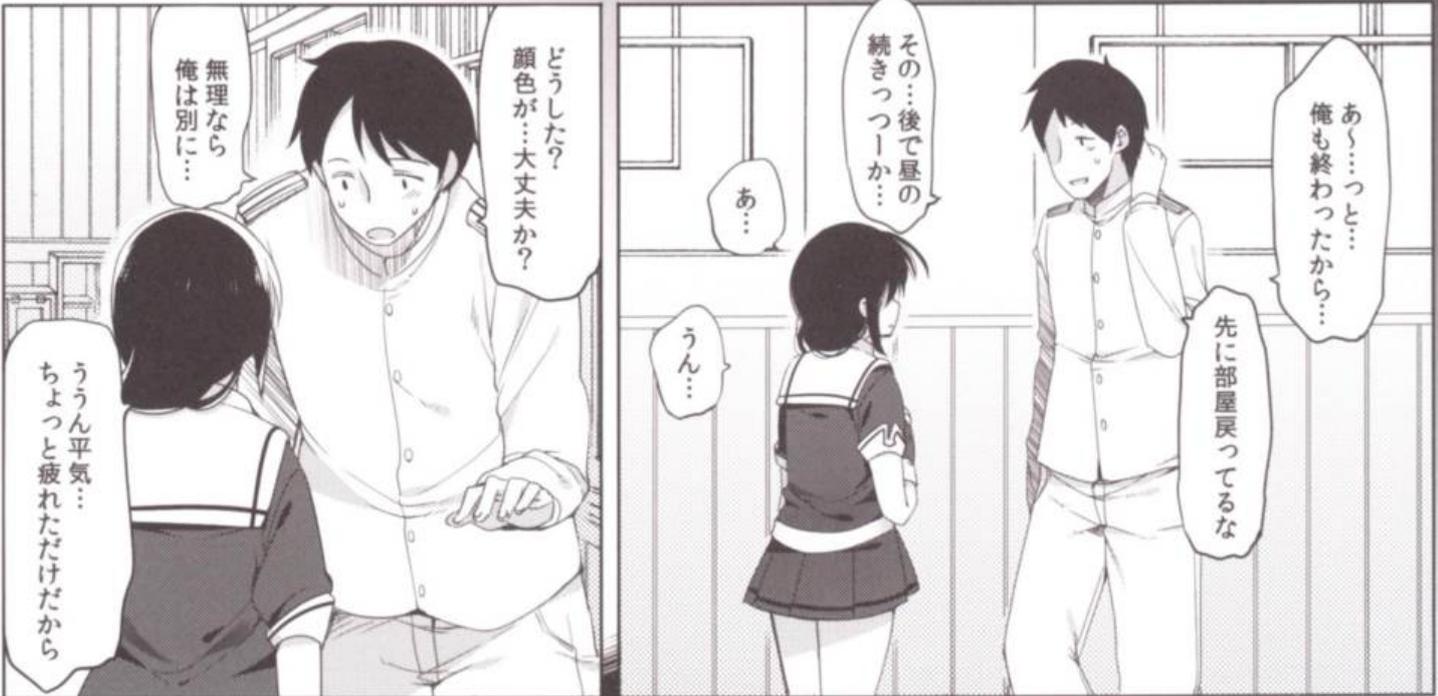
果てのない
暗い、くらい底におちてゆく



ていとく...

あつ時雨!

お疲れさん



あ〜つと〜俺も終わったから...

先に部屋戻ってるな

その...後で昼の続きっつーか...

あ...

うん...

どうした? 顔色が...大丈夫か?

無理なら俺は別に...

ううん平気... ちよつと疲れただけだから



お風呂でカラダ洗ったらすぐ行くから...

提督だけにはぜつたい...

ボクが秘密にすれば大丈夫なんだから...

待っててね...

ボクだけの...



こんにちは、藤崎ひかりです。
この本を手にとって下さってありがとうございます。

今回はずっと作りたかった時雨本！
救いはない。それでも日々は続いていく。
という僕の大好きなお話を久しぶりに描いて
みましたがいかがでしたでしょうか。

去年まで描いていたしおいの浮気ックスまんがは、
お話の決着をつけるためにも、ちょっとソフトな着地を
させたのですが、今回はそういうのをとっぱらって
どこにも行けないようなオチにしました。
やっぱり絶対に言えない秘密を抱えたまま過ぎて
欲しいんです…好きな娘には特に…。

次の本では純愛浮気モノか、凌辱NTRモノか、
正反対のどっちかに極振りした本を作りたくなって思ってます。
あ…どっちにしろNTRだった…ご存知ですよね…すみません…

それでは、また次も読んで頂けると嬉しいです。

2016/05/08

発行：Frenchletter

藤崎ひかり <http://puchisana.p1.weblife.me/>

pixiv：81970

Twitter：pedori3

印刷：上野印刷

18歳未満の方の購読はご遠慮下さい



提督はボクを……

こんなボクを赦してくれるかな……

もっちょと……
だったのに……な……

ボク

Frenchletter

※内容にNTR要素を多分に含んでいます。